キャラクター名: 倉岡美崎

プレイヤー名:

シンドローム	バロール ブラックドッグ	ワークス	UGNエージェントA	カヴァー	高校生
オプショナル		年齢	17	性別	女性
覚醒	償い	衝動	吸血	初期侵食率	35 %
出自	親戚と疎遠	経験	被害者(一般社会)	邂逅	いいひと(谷修成)感情：慈愛/偏愛

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	2	1	3			6
感覚	2	0	0			2
精神	3	0	0			3
社会	1	0	0			1

HP	35
行動値	7
(非装備時)	7
戦闘移動	12
全力移動	24

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	1		射撃			ＲＣ	1		交渉		
回避	1		知覚			意志			調達	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：UGN	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
No Quarter	白兵	9r+1		+1		漆黒の拳+瞬速の刃（6）
Heart Breaker	白兵	9r+5		+1		漆黒の拳+瞬速の刃+アタックプログラム(8)
Stairway To Heaven	白兵	8r+5		+11		コンセレ（バロール）+漆黒の拳+瞬速の刃+アタックプログラム+MAXボルテージ(12)

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

合計装甲：	0	合計回避：	0

所持品	

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
亜純血	P	N		
	P	N		
	P	N		
矢神秀人	P 同情	N 悔悟		
篠田裕	P 信頼	N 不快感		
	P 庇護	N 敵愾心		
緋影いのり	P 連帯感	N 不安		

最大財産P: 4	残り財産P：

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：	コスト分のHPで復活							
コンセントレイト[バロール]	2							
効果：								
漆黒の拳	5	3	メジャー	武器	単体	対決		
効果：	装甲無視+ATK5							
縮退機関	4							
効果：								
咳力跳躍	1							
効果：								
雷鳴の申し子	1							
効果：								
アームズリンク	1							
効果：								
	★							
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								

「私には役目がある、きっと、この力で」
「どいて。私には、やらなくちゃいけないことがあるのよ――！」

氏名：倉岡美崎(くらおか　みさき)

一般人。黒い長髪と赤い目、黒ニーソ。
黙っていれば楚々とした美人であろうものの、後述するフラフラと居場所を求めて彷徨う性質から理解者に恵まれない。
何かと厄介ごとに首を突っ込みたがる悪癖を持ち、漠然と『己は此処にいるべき人間ではない』と考えている困ったちゃん。
現在は一般家庭で暮らしているが、元は大手財閥の娘で、幼少期に母親から縁を切られて分家の家に引き取られ育った。
落ち着いた素振りを演じているが根は激情家で頭も悪く、気が逸りがち。それは自分も認めている欠点である。

発現した異能は『失墜する黒鉄伯<Lead Zeppelin>』。重力と磁力を体の末端部から発する能力。効果範囲が狭いものの、力の方向や力場の調整に高い集中力を要する重力・磁力操作を感覚的に操作できるため、近接戦闘において有利となる。
これを用いて足場の安定化と重心移動、移動の際の力の移動を調整できるため、如何なる場所でも安定した戦闘力を発揮できる。
まだ効果をうまく使いこなせていないため、足先に発生させた重力塊を、電磁加速・調整した足によって直接的に叩きつける用法を基本としている。
本来は重力子と光子の双方を操ることで念動力のように物体に働きかける能力だが、本人が力の使い方をマスターしていない関係から自身の身体周囲に対してしか発揮できない。

名前の由来は70年代のUKロックバンド『レッドツェッペリン』から。その由来はLead ballon(大失敗の意味)と飛行船ツェッペリンをかけたもの。
必殺技であるStairway To Heavenも歌詞の意味の一説では『愚かな選択をして天国の階段を一段ずつ買っている女と、それを見てまだ道は選び直せるあなた』という構造をとっている。
いずれも道を戻れるにもかかわらず、間違った方向にばかり進んでいく彼女を暗示している。